

## 第6回あきる野市総合計画審議会

日時 令和3年3月15日（月） 午後3時～午後4時5分

場所 あきる野市役所5階503会議室

出席者：会長 菊地 俊夫	副会長 横倉 三郎
委員 田野倉 美保	委員 甲野 富和
委員 網代 和夫	委員 大久保 春彦
委員 坂本 勇	委員 齋藤 孝
委員 安永 勝昭	委員 浦野 知昭
委員 立花 晋也	委員 倉田 克治
委員 伊東 満子	委員 野島 健也
委員 吉田 榮久夫	委員 梶 敏男
委員 多田 恵子	委員 町田 修二
委員 青木 旦治	委員 吉田 正幸

(欠席者：松村博文委員、近藤怜美委員、下村智委員、松野利美委員)

### 1 開会

(事務局)

緊急事態宣言が延長され、新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えず、本来リモート会議等が望ましい状況ではあるが、重要な審議事項であることから対面での意見交換が必要と考え、感染症対策を講じた上で対面形式にて開催させていただく。

なお、本日は松村委員、近藤委員、下村委員及び松野委員から欠席の連絡をいただいている。

### 2 会長挨拶

(菊地会長)

お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大の状況下における会議のため、長時間の会議とならないよう、円滑な進行にご協力いただきたい。

### 3 議事等

#### (1) 報告事項について

##### ① 令和2年度タウンミーティング開催報告について

【資料1に沿って、事務局より市民ワークショップ、職員ワークショップについて説明した。】

(菊地会長)

資料1について何か意見はあるか。また、後ほど内容を確認し意見等がある場合には配布した意見シートへ記載し事務局へ提出いただきたい。

(意見なし)

#### (2) 審議事項について

##### ① 第二次あきる野市総合計画（たたき台）について

【資料2・3・4に沿って、事務局より説明した。】

(菊地会長)

たたき台について、資料3の要点として資料4がまとめられている関係性を踏まえ、ご意見がある場合は挙手にてご発言いただきたい。

(委員)

資料3の4頁、「市街地の整備」で「組合等が主体となった民間施行に移行する」とあるが、武蔵引田駅周辺地区の場合、実際に施工者が民間へ変更する可能性があるかを確認したい。民間へ移行することを現実的に考えているのであればその旨を記載すべきではないか。また、6頁でアダプト制度の言及があるが、仲介役になるような機関が必要ではないか。管理者になれるような民間活力の導入を進める場合のマッチング（整合性を図る）が必要であり、おそらく行政の役割となるのではないか。

(事務局)

民間施行について、武蔵引田駅以外の地域を想定していたので書きぶりを調整する。アダプト制度へのご指摘は担当課と協議させていただく。

(委員)

同じく4頁、「民間活力による」について市が主体的に誘導するのか、具体的な想定があるのであればお伺いしたい。

(事務局)

現時点では具体的な想定について回答いたしかねるため、担当部署と調整の上、表現も含めて具体化できる範囲でわかりやすい記載を心がけたい。

(委員)

34頁、平和なまちづくりの推進について、「市内の子どもたちを広島に派遣するなど」とあるが、どのような事業を念頭に置いて記載しているのか。

(事務局)

市内小学校の高学年を想定し、式典参加や地元の方々との意見交換をイメージしている。一方で、学校教育において指導要領内で平和教育が実践されているため、学校教育とは別の文脈で、自主的な参加を促すことを考えている。

(委員)

学校教育と切り離す点、重要であると思われるので引き続き留意いただきたい。

(委員)

防災分野について、重点施策として位置づけられないと具体的に進捗しないのではないかと考えているので、検討いただきたい。

(事務局)

ご意見として承った。

(委員)

14 頁、「産業系土地利用への期待が高まってきています」とあるが、一方で人口減少社会に突入し、JR 五日市線の便数も減少する中、産業振興をどこまで実現できるのか疑問が残る。

(事務局)

圏央道に言及していることから、車両物流系の利用を想定している。五日市線の減便は乗車人員の減少が要因と考えられる。利便性の向上（公共交通の充実）は都市整備分野で言及しており、両立できるように取り組むことを考えている。

(委員)

24～25 頁、花粉は 50 年生の樹木が多く飛ばすことがわかっているので、「人工林の荒廃、林齢構成の偏りに伴う高齢級化した人工林」が原因である旨を明記すべきではないか。「公益的機能」はもう少し、わかりやすい説明を加えるべきではないか。38 頁、外来種対策の推進とあるが、有害鳥獣についても記載があるので、タイトルにその旨を反映してはどうか。

(事務局)

花粉の件はご説明の趣旨、理解した。有害鳥獣は対策の想定内であるため「外来種等」と表現を再考する。

(委員)

国土強靱化について、土砂災害対策を入れ込むべきではないか。

(事務局)

国土強靱化の対応を進める中で、本市の場合、河川対策の必要性が高い一方、どのように対策を推進するか、手段や記載方法については慎重に検討する必要があると認識する。

(委員)

秋川漁協について、秋川ではアユ以外にマスやヤマメ等が釣れるがそういった魚にも遊漁券は必要ではないのか。

(委員)

秋川漁業における漁業権魚種は10種類ある。漁業権魚種は、アユやヤマメ等も含まれるが、維持管理と増殖が必要となり、増殖するためには遊漁券を購入いただくシステムをとっている。また、生物多様性、森林、防災は密接に結びついている。例えば秋川の川底には多くの虫が住んでいたが、護岸工事等の影響で激減している現実がある。複合的に捉えて検討いただきたい。

#### 4 閉会

(事務局)

本日のご意見及び後日提出頂く意見書を踏まえ、内容を修正する。あわせて本日お示しした資料をもとに3月議会へ報告する。

(委員)

短時間で活発な意見交換、ありがとうございました。本日の検討を踏まえて、意見書を記入し、提出いただきたい。引き続きよろしく申し上げます。